



発行所 三四会医学部新聞編集室 東京都新宿区信濃町35 電話(3353)1211 内線64996

三四会ホームページ



信濃町駅前・各種診療 慶應義塾大学病院 診療時間 午前8時～午後5時(夜間診療あり)

第117回医師国家試験

第117回新卒合格率ランキング

順位	大学名	合格率(%)	合格者数	受験者数
1	順天堂大学	100.0%	135	135
2	福島県立医科大学	100.0%	122	122
3	愛知医科大学	100.0%	115	115
3	徳島大学	100.0%	115	115
5	久留米大学	100.0%	102	102
6	国際医療福祉大学	99.2%	124	125
7	自治医科大学	99.2%	121	122
8	慶應義塾大学	99.1%	112	113
9	滋賀医大	99.0%	103	104
10	奈良県立医大	99.0%	100	101

「全員合格」を合言葉に仲間と共に戦い抜いた

令和5年2月4日、5日に実施された第117回医師国家試験の合格率は91.6%であった。慶應義塾大学の合格率は99.1%、合格者は112名、受験者数は113名であった。

第117回医師国家試験の受験者総数は102,938人(昨年100,619人)、合格者は9,432人、合格率は9.2%であった。

慶應義塾大学の現役生は113名のうち、112名が合格し、1名が不合格であった(合格率99.1%)。既卒生は4名、1名が合格、3名が不合格であった(合格率75%)。

今年の合格率は、昨年より高くなったが、昨年の合格率は、72.1%、7.6%であった。この数字は、新型コロナウイルス感染症大流行による影響を受けたことも一因と見られる。今年度は、医学教育の質を高め、合格率を上げるための取り組みが行われてきた。これは、医学部としての責任と使命を全うした結果であると見られる。

慶應義塾大学の合格者数推移

年次	新卒合格者数	新卒合格率	既卒合格者数	既卒合格率	
2023年	117回	112/113	99.1%	1/4	25%
2022年	116回	109/110	99.1%	2/5	40%
2021年	115回	108/110	98.2%	2/5	40%
2020年	114回	106/107	99.1%	4/8	50%
2019年	113回	107/111	96.7%	2/4	50%
2018年	112回	110/110	100%	2/6	33.3%
2017年	111回	107/110	97.3%	2/4	50%
2016年	110回	105/108	97.2%	0/4	0%
2015年	109回	108/108	100%	2/9	22.2%
2014年	108回	101/103	98.1%	1/6	16.7%



令和4年度卒業式 113名が社会へとはばたく

令和4年度卒業式が、3月28日、日吉記念館にて行われた。卒業生と家族を祝福する家族や、卒業式典では、午前10時に開始された。

学部長が受領代表としてスピーチを行った。学部長は、卒業生が社会へとはばたくことを期待し、卒業生が社会で活躍することを願った。卒業生は、学部長の言葉に涙を流し、感謝の言葉を述べた。

卒業式を終った後、伊藤学部長が式辞を述べた。伊藤学部長は、卒業生が社会で活躍することを期待し、卒業生が社会で活躍することを願った。卒業生は、学部長の言葉に涙を流し、感謝の言葉を述べた。

卒業式に続き、学部ごとに学位授与式が行われた。学部長は、卒業生に「社会で活躍してください」と激励の言葉を述べた。

第7回健康医療ベンチャー大賞 決勝大会開催



2023年12月18日、慶應義塾大学医学部主催の第7回健康医療ベンチャー大賞の決勝大会が三井不動産日本橋ホールにて開催された。

本大会は、健康医療分野におけるベンチャー企業の成長を支援することを目的として開催された。今回は、国内・国外から15チームが参加し、健康医療分野におけるベンチャー企業の成長を支援することを目的として開催された。

審査員は、健康医療分野の専門家から構成された。審査員は、各チームのプレゼンテーションを聞き、質問応答を行った。結果、三井不動産日本橋ホールにて開催された。

令和4年度 謝恩会開催

本年度の謝恩会が、3月28日、ザ・リッツカールTON東井ラウンドホールにおいて執行了された。今年度の卒業生は、102名が参加した。

謝恩会では、卒業生が学部長や教員に感謝の言葉を述べた。学部長は、卒業生に「社会で活躍してください」と激励の言葉を述べた。



4年ぶりの対面開催となった謝恩会

三田会長の武田純三先生は、卒業生に「社会で活躍してください」と激励の言葉を述べた。卒業生は、学部長の言葉に涙を流し、感謝の言葉を述べた。

卒業式に続き、学部ごとに学位授与式が行われた。学部長は、卒業生に「社会で活躍してください」と激励の言葉を述べた。

卒業式を終った後、伊藤学部長が式辞を述べた。伊藤学部長は、卒業生が社会で活躍することを期待し、卒業生が社会で活躍することを願った。卒業生は、学部長の言葉に涙を流し、感謝の言葉を述べた。

三四会奨励賞の推薦について

Young Investigator Award, Keio University School of Medicine Alumni Association (Sanshikai)

目的 若手の三四会会員の研究を奨励し、実学としての慶應医学の発展を図る。

対象 1. 次の各分野で学位取得後地道に研究を続け、すぐれた業績をあげた三四会正会員で三四会として少なくとも1年は経過している者(本塾関連病院のみではなく、研究施設、他大学、地域等で業績をあげている三四会員も含む) 対象となる分野 1、臨床医学 2、基礎医学

推薦方法 1. 推薦者は、三四会役員、三四会評議員、慶應義塾大学医学部教授、慶應義塾大学関連病院会員および他大学教授(三四会員)とします。 2. 推薦者は、候補者の承諾を得た上で、所定の書式(三四会奨励賞推薦状)により候補者を推薦してください。 3. 締め切りは、2023年4月14日(金)必着、三四会事務局宛とします。 4. 提出書類は、推薦状、被推薦者略歴、業績目録、主論文一編の別刷(学術集会発表の場合はそれを証明するコピーと800字程度の抄録)、提出部数は、オリジナル1部とコピー10セットが必要です。 5. 対象となる研究が共著論文の場合は共著者の承諾書(オリジナル1部とコピー10部)が必要となります。

※推薦状、略歴、業績目録、論文、共著者の承諾書を順に組んで1部とし、コピーも同じ体裁に整えてください。 ※推薦状のダウンロード、必要書類等は下記URLをご覧ください。 URL: <http://www.sanshikai.jp/award/shourei/index.html>

選考ならびに受賞 三四会奨励賞選考委員会による厳正な選考の結果、約8名程度の受賞者を決定します。受賞者は2023年6月17日(土)に予定されている三四会定例評議員会で表彰され、賞状および副賞が授与されます。

「比企能樹先輩 お別れの会」のご案内

謹啓 皆様ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。比企能樹先輩は令和4年10月14日、享年89歳にて永眠されました。先輩は学生時代に、1956年メルボルン五輪男子エイト代表として出漕。ご卒業後は名医の道を進まれ、晩年は慶應義塾大学医学部同窓会「三四会」会長、「慶應連合三田会」会長を歴任されました。先輩への敬意と感謝を込めて、お別れの会を下記の通り執り行わせていただきますのでご案内申し上げます。 謹白

令和5年3月 三田漕艇倶楽部 有志 記

日時: 2023年4月17日 月曜日 12:00~14:00 場所: 日本橋三越 本店7階「特別食堂 日本橋」不二の間 東京都中央区日本橋室町1丁目4-1 03-3274-8495 会費: 5,000円

香典、供花の儀はご辞退申し上げます。 飲食の提供は、ございません。 出欠のご連絡は不要です。 当日は平服にてお越しくださいますようお願い申し上げます。 尚、当日は三田漕艇倶楽部会員に限らず、どなたでも参加いただけます。多くの皆様ご参加をお待ちしております。 お問い合わせ先 三田漕艇倶楽部 石川博嗣 090-4677-1311 Email: tsugu@fijii4uor.jp

三四会社会功労賞の推薦について

目的 地域社会、社会貢献を通じて顕著な功績により三四会の名譽を高めた三四会員を表彰し実学としての慶應医学の発展を図る。

対象 1. 表彰目的に沿った優れた業績をあげた三四会正会員(本塾関連病院のみではなく、研究施設、他大学、地域で業績をあげている三四会員も含む) 2. 年齢は問わない。

推薦方法 1. 推薦者は、三四会役員、三四会評議員、慶應義塾大学医学部教授、慶應義塾大学関連病院会員および他大学教授(三四会員)とします。 2. 推薦者は、候補者の承諾を得た上で、所定の書式(三四会社会功労賞推薦状)により候補者を推薦してください。 3. 締め切りは、2023年4月14日(金)必着、三四会事務局宛とします。 4. 提出書類は、推薦状、被推薦者略歴、表彰目的に沿った業績目録、客観的に評価しうる資料等、オリジナル1部とコピー10セットが必要です。

※推薦書のダウンロード、必要書類等は下記URLをご覧ください。 URL: <http://www.sanshikai.jp/award/kourousyo/index.html>

なお、社会功労賞は、年を重ね、業績を積み重ねるにより、より事業に重みを増すものですが、これまでに採択されなかった事業についても是非再度応募ください。

選考ならびに受賞 三四会会長を委員長とする三四会社会功労賞選考委員会による厳正な選考の結果、原則1名の受賞者を決定します。受賞者は2023年6月17日(土)に予定されている三四会定例評議員会で表彰され、賞状および副賞が授与されます。

海外留学は今も昔もアカデミックな活動上での一つの登壇門である。情報技術革新に伴い、海外留学の必要性が問われる昨今ではあるが、文化・歴史・言語が異なる海外の研究生活を目前にした私はまさに胸が高鳴る思いで本原稿を書いている。果たして今までの私の選んだ道は医療の進歩に貢献できるものだろうか。研究活発な研究チームの医療技術の進歩を体感する中、留学を直前に控えた今、心の中に返さなければならない。しかし、私も今も今後想定している未来が待っている。人生の転機に備える所存である。

(東京大学医学部附属病院循環器内科 梅井正彦 91回)

先日から公表された論文を皮切りにAI活用を叫びたい人が目立っている。つい数年前まではAIによる画像診断で医療が変わると言われてきた最中の技術革新であり驚きも隠せない。もはや10年後の医療の行末など全く予想がつかない時代が到来した。 私は福島の久米附設高校卒業し、本塾へ入学した。福島の出身として九州大学へ入学することになった。九州大学へ入学することになった。九州大学へ入学することになった。